

Pモル・B30

プレミックスモルタル

特長

コンクリート色で仕上り、補修が目立ちません
ジャンカ補修仕上材豆つぶしの下地調整に最適です。

用途

コンクリート薄塗り補修 (塗り厚さ = 1 ~ 3mm)

欠損部の補修や、仕上には下記コンビネーション製品をお使い下さい。



荷姿、使用量



NET・20kg
(容積=11.8リットル/袋)

標準使用量・85袋/m³

1袋の標準施工面積

塗り厚さ	1mm	2mm	3mm
施工面積	11.8m ²	5.9m ²	3.9m ²

コンビネーション製品

大きな欠損の補修

厚付けが簡単です。
パッド工法で使えば、
大きな欠損部も簡単に
補修出来ます。



欠損の補修

左官モルタルで、塗付けに
適しています。
一度に5~10mm程度塗り付
けが出来ます。



補修の仕上

コンクリート色の補修仕上材
です。
より完璧な補修が可能です。



試験結果

試験項目	試験結果			試験方法	
容積	590cc			試料1kgに水195ccを加えて練混ぜた容積	
W/A	19.5%			試料に加えた水の割合	
フロー値	159mm			JIS R 5201	
圧縮強さ	材令	3日	7日		28日
		30.1	39.4		49.0
付着強さ	N/mm ²	0.5	0.7	0.6	
		0.9	1.1	0.7	

付着強さの試験方法
建研式を用い、アタッチメントは5×5cmとした。
供試体はコンクリート平板に1.0mm厚さで塗り付け、20℃気中で養生した。
供試体の作成はコンクリート平板を下地とし、一つは水湿しのみ、もう一方はプライマー
(アクリル樹脂45%の4倍液)を塗布し、モルタルに樹脂(アクリル樹脂45%)を混和した。

記載の試験結果は本製品の技術情報として提供するもので、保証値ではありません。ご了承下さい。

ジャンカ補修

1. 補修ヶ所をマーキングし、マーキングに合わせてコンクリートを浅く（1～2mm）カットして脆弱部をハツリ取ります。
※小さなジャンカは不要です。
2. 下地を掃除し水湿して、余剰な水は拭き取るかプライマーを塗布します。
3. Pモル・B30に20%弱の清浄な水を加えて十分に練り混ぜます。
4. 鏝で仕上げ面より1mm程度厚めに塗りつけます。
5. 塗り付けPモル・B30が適度に締ったら、金鏝（角鏝）を逆向きに立てて削り落として平滑にし、もう一度軽く表面を押さえて仕上げます。
※ジャンカ補修の仕上には**豆つぶし**（当社製品）が便利です。

目違い直し

1. 補修ヶ所をカップリング掛けし、掃除します。
2. 補修ヶ所をテープでマスキングします。マスキングは水平、垂直を出して四角形にします。
3. プライマー（PCボンド〈アクリル系エマルジョン樹脂・固形分45%〉の8倍液）を刷毛で塗布し、乾燥を待ちます。
4. Pモル・B30とPCボンドを下記の配合で十分に練り混ぜます。
5. 塗りつけ厚さが2mm程度以下なら一度に、それ以上の場合は付け送りしながら金鏝で塗り付けます。仕上げは塗りつけたPモル・B30が適度に締まったところで、霧吹きで表面を少し湿しながら軽く表面を押さえて仕上げます。

配合	Pモル・B30	20 kg
	PCボンド	0.4 kg
	清浄な水	3.5 程度

養生 直射日光、通風をさけて養生します。

本製品に石綿、蛇紋岩、樹脂類、有機溶剤、有害量の塩分は一切混和していません。



本製品は普通ポルトランドセメントを主要結合材とした業務用既調合モルタルで、作業性の改善や、ドライアウト防止の為に適量の混和材(剤も含む)を混和しています。水と反応して硬化しますので運搬、保管時は破袋と湿気を避け、早めに使い切ってください。又、本製品は粉塵がたち易く、水に濡れると強アルカリ性を示します。取扱に際しては保護具(防塵マスク、ゴム手袋等)をご着用下さい。若し、皮膚に付着した時は直ちに大量の水で洗い流して下さい。万一、眼に入った時、吸引した時、飲み込んだ時は直ちに洗浄等の応急処置を施して速やかに専門医の診察を受けて下さい。

Pモル・B30のご用命は

1811-1000

製造元

受け継がれる自然の恵み
 **マツモト産業株式会社**

本社 〒656-0473 兵庫県南あわじ市市小井 123
TEL0799-42-5000 FAX0799-42-6612

セメント事業部

〒656-0473 兵庫県南あわじ市榎列上幡多 853-1
TEL0799-43-2820 FAX0799-43-2821
URL:<http://www.matsumoto-group.co.jp>